

本書序に「本書哲學の稱ある所以は夫の尋常一般の歴史に登載する事實の記録に止まらずして、活亂興廢の理文運隆替の由を講究し、其他何事たりと雖も遠く源因に溯り深く結果を探り哲學上より評論を下したればなり。」とある。

△斯氏哲學要義 辰己小次郎著、哲學書院發行。二十年四月發行。  
本書は Spencer : The First Principles の要領のみを譯述せるものなり。

○△婚姻論 完。横山雅男著。女學雜誌發行、二十年七月出版。  
婚姻の社會學的統計學的研究。

△文明要論 完、英國碩儒バックル原著、日本文學士辰己小次郎譯述。原書 History of Civilization in England の抄譯、二十年十月出版、哲學書院發行。

○△統計詳説 一名社會觀察法 吳文聰著、二十年七月出版、風文館發行。  
本書はゲオルグ・マイヤー、ワッペウス等の書を参考とせる由序文にあり。

△スタチスチック歴史 吳文聰譯。原著 Dr. Von John : Der Name Statistik, Eine Etymologisch-historische Skizze. 二十年十月出版。出版人今井藤四郎。

△英國憲法之真相 英バジョット著、竹越與三郎岡本彦八郎共譯。原書 Bagehot : English Constitution. 二十年七月出版、岡本英三郎發行。

△日本情交之變遷 末兼八百吉著。二十年十月出版、晚青堂書店發賣。

ウオード、スペンサーの學說引用さる。

△西洋日本女權沿革史 辰己小次郎著。二十年七月出版、哲學書院發行。

西洋の部には希臘羅馬以後歐洲歴代の女權沿革を述べ、日本の部には古事記萬葉集儒佛經典大寶律令貞永式目徳川百箇條等の書籍より例證故事を引く。

△男女淘汰論 山縣悌三郎纂述。原本不接。

ダーウキンの主義により人類變遷の理を講明し兼ねて進化論の要領を叙述したるものゝ由、

△貧困救済論 英國大學校經濟學博士ヘヌリ・ホーセツト著、日本大野直輔譯述。原書はケンブリッジ大學に於ける講義、二十年六月出版、有隣堂發兌。

明治二十一年

△模倣哲學 一名日本模倣之性質 飯田央著。二十一年二月出版、伊東澤造發行、種本はスペンサーの著書？

△社會學 文學士三宅雄二郎講述、伊達周碩筆記。原書 I. F. Ward : Dynamic Sociology. 二十一年三月二十三日印刷、同年三月廿九日出版御届。

△應用統計學 吳文聰著。二十一年六月出版、富山房發兌、小野英之助發行。

エンゲル、マルサス、ジュースミルヒ等の學說の紹介批評あり。

△代議政體得失論 英國波・須邊瑣氏原著、日本文學士高田早苗校閱、平松熊太郎譯述。原



書 Herbert Spencer : Representative Government. 二十一年十月出版、富山房書店發行。

△日本現在國家哲學 全。有賀長雄著。二十一年八月出版、牧野書房發行。

△社會之顯象 何をか社會の顯象と云ふ 久松義典著。二十一年四月十五日出版、巖々堂發行、明治二十二年。

△社會結合三大統一露西亞の大恩 文學博士外山正一著、哲學書院發行、二十二年二月出版。

△萬物退化新説 獨逸博士ワイツマン著、日本理學士石川千代松譯、原書 Ueber den Rueckschritt in der Natur. 二十二年四月出版。

本書は一八八六年一月、フライブルグ大學にて講演せられしものを著はせるものなり。

△國家學 文學士有賀長雄編述。二十二年一月出版、二十二年四月増補再版、發行者牧野善兵衛。

本書はスタイン、ブルンチュリ、グンプロヴィッツ等に負ふ所多く、東京専門學校の講義を基礎として著述せるもの、第一部第四章第五章は社會學に關係深し。

△須多因氏講義筆記 有賀長雄筆記。二十二年七月出版、宮内省藏版。第九頁にマルサス學説の紹介がある。

△社會學 民谷吉次郎著。新撰百科全書第十六編―第二十二編に掲載、二十二年八月―十一月出版、博文館發行。

「内容」緒言、總論第一章社會學の目的及び其の範圍、第二章社會の發生、第三章社會發達、正編第一章慣習を論ず、第二章經濟を論ず、第三章政體を論ず、第四章宗教を論ず、第五章倫理、第六章慣習經濟及び政治と倫理との關係。

△統計學要論 坪谷善四郎著。新撰百科全書第二十三編―第二十四編に掲載、二十二年十二月―二十三年一月出版、博文館發行。

△國民と國會との關係 英スベンサー、ワルポール著、阪谷芳郎譯。原本不接。

△心像 外山正一博士筆。二十二年十二月公刊。

△政事を以て任ずる者は社會學を修めざるべからず、加藤弘之博士、二十二年一月十三日學士會院講演。

明治二十三年

△斯邊瑣代議政體論 英ハーバート・スベンサー著、島田豊譯。原著 H. Spencer : Representative Government. 二十三年三月出版、大倉書店發行。

△社會學 辰巳小次郎講述。哲學館講義錄に掲載、二十三年十月―二十四年九月出版。

第一年普通科西洋部講義内容 第一章總論、第二章社會現象の部類、第三章野蠻人の體格、第四章野蠻人の情感、第五章野蠻人の知識、第六章野蠻人の思想、第七章生死の思想、第八章異界の思想、第九章鬼神の思想、第十章宗教界の思想、第十一章社會の進化、第十二章男女の異



同、第十三章家族の組織、第十四章人天の關係。

右の講義終了後辰己氏の提出したる試験問題左の如し、(哲學館講義錄第三十一號掲載)。

- 甲種問題 (一) 社會の定義、(二) 婚姻の及ぼす影響、(三) 政治上の改良を計れ、 乙種問題
- (一) 人天の關係を述べよ、(二) <sup>サイエントフィス</sup> 學擊の功用を述べよ、(三) 政治上の改良を計れ、 館外員問題
- (一) 社會の定義、(二) 婚姻宗教政事の相關、(三) 社會發達の概要。

△日本古代法 完。坪谷善四郎輯。二十三年五月出版。博文館發行。

△天則 第壹編 全。自第壹號至第拾貳號。加藤弘之講述。二十三年五月合本、哲學書院發賣。

△人類之時代及起源 青年會叢書。バツテソン、プファフ合著。高橋五郎譯。原書不明、二十三年十月刊行。米國聖教書類會社發行。

△萬國娼妓沿革 米國醫學博士ウイリアム・サンガー著。土屋柳平譯。原書 History of Prostitution. 二十三年二月出版。輿論社發行。

△歴史哲學 哲學館第一期第二年級講義錄、文學士辰己小次郎講義。年代不明、但し二十三年一月以前なることは明かなり。

明治二十四年

△社會學一斑 文學博士加藤弘之講述、館内員和泉同筆記。哲學館講義錄第四期第一一年級に

掲載。二十四年五月出版。

「内容」強者の権利が開化の上に及ぼす影響。

△民政論 政治一斑第一輯第二輯第六輯第七輯に掲載、譯者不明。原書 Sir Henry Main: Popular Government.

△人間天然の不平等 政治一斑第三輯掲載。原書 Thomas Henry Huxley: The Natural Inequality of M.en. - Nineteenth Century. January. 1800. 二十四年六月出版。金港堂發兌。

△斯氏統計要論 米リチモンド・マヨール・スミス著、吳文聰譯。原書 R. Mayo-Smith: Statistics and Sociology. 二十四年十月出版。文昌堂發行。

△隱居論 法理學叢書の中、穂積陳重著。二十四年十二月出版。哲學書院、丸善書店發賣。

△高等經濟原論 英ミル著 米ラフリン編 天野爲之補譯。二十四年九月出版 富山房書店發兌。本書はラフリンの縮約せるミルの經濟論を翻譯せるものなり。

△非國會論 英スペンサー著 荻原民吉譯。原本不接。

△貴族論 稻垣滿次郎著。原本不接。

△社會黨瑣聞 完。石谷齋藏著 米國法律學士茂木虎二郎序。二十四年三月出版。

本書は西洋の諸學者の著者等を参考書として著はされたるものなり。

明治二十五年



△社會問題 前・後篇。顯理・惹兒著、板垣退助、中江篤介序、江口三省譯、原書 Henry George : Social Problem. 前篇二十五年四月出版、後篇不明、自由社發行。

△利勢論 一名官卑民尊論 英國碩學斯邊撒原著、神戸日報主筆千田鈞譯述。二十五年十月出版、神戸日報發賣。

△斯氏倫理原論 英國スペンセル著、日本田中登作譯。原書 H. Spencer : Principles of Ethics. 二十五年十一月出版、普及舎發賣。

△日本古代法典 萩野由之等編。

△離婚及其救済策 湯淺新著。二十五年七月出版。

△國家社會制 英ウヰリアム・ハーバット・ドウソン著、光吉元次郎譯。原書不明、二十五年六月出版、哲學書院發賣。

本書は國家社會主義を説けるものなり。

明治二十六年

△大學教課的社會學 米ギディングス著、米國哲學博士大石熊吉郎閱、英語法律科得業生前川九萬人譯。原書 F.H. Giddings: Sociology as the University Study. 東京專門學校政治科第一年級第五回(廿六年度)講義錄參考課目。

△政事上の大謬信 英スペンサー著、高田早苗閱、英語法律科得業生小野得一郎譯。原書

Herbert Spencer: The Great Superstition. 東京專門學校政治科第一年級第五回(廿六年度)參考課目。

△日本古代法釋義 有賀長雄編述。二十六年四月出版、牧野善兵衛發行、本書は明治四十年頃になりて更に大部のものとなりて博文館より發行せられたり。

△労働問題 英國法學博士ダブルニュー・スタンレー・ジエブオンス著、日本林董序、佐久間貞一識、吹田鯛六譯。二十六年五月發行、經濟雜誌社發兌。

△十九世紀之大勢 平民叢書第一卷、徳富蘇峰編。民友社發兌、フレデリキ・ハリソンの十八世紀論及び十九世紀論に材料を主としてとる。二十六年三月出版。

△教育と遺傳 平民叢書第四卷。徳富蘇峰編。民友社發兌、ジャン・マリイ・ギユヤウの教育と遺傳の要旨を摘譯せるもの。

△經濟と道徳 平民叢書第七卷。徳富蘇峰編。民友社發兌、佛アミル・ドラヴレリの説の紹介、二十六年九月出版。

△歴史攻究法 平民叢書第八卷。徳富蘇峰編。民友社發兌、レオ・トルストイ著「權力及自由」の譯、二十六年十二月出版。

「歴史の目的」の項に「歴史の目的は人民生活及人間全體の生活を研究するにあり」とあり。

△哲學變遷史 平民叢書第九卷、徳富蘇峰編、民友社發兌、二十七年三月出版、附錄近世哲學の大勢の第九章にコムト、スペンサーの學説紹介さる。



△白哲人種之前途 平民叢書第十卷、徳富蘇峰編、民友社發兌、二十七年八月出版、原書 Charles Pearson : National Life and Character, 1893. 「國民的生活及品性」。

チャールス・ピアソンの略傳あり。

△帝權論 著作兼發行山口松五郎。二十六年十一月出版。

明治二十七年

△社會學 通俗教育全書第八十九編。澁江保著。二十七年一月發行、博文館發兌、編輯發行人野口竹次郎。

本書は Spencer : The Principles of Sociology. 第一、第二兩卷に基き平易に初學者の爲に著者が筆を執れるものなり。終りに土地所有權に關するスペンサーの説、土地共有の不可を論ぜるジェームス・ブラットの説、土地共有説をとれるヘンリー・ジョーヂの説を附録としてある。

△歴史研究法 通俗教育全書第九十五編。ヘーゲル原著、澁江保譯述。二十七年二月上卷、同年三月下卷發行、原書 G. W. F. Hegel : Lectures on the Philosophy of History.

上卷々末にゴスウキック獨逸文學史に據る原著者ヘーゲルの傳附録としてある。博文館發兌。

△人類學 通俗教育全書第九十七編。原書 Daniel Wilson : Anthropology. 澁江保譯述。二十七年三月發行、博文館發兌。

△個人對國家論 社會文庫第一篇。英國大儒スペンサー新著、法學士永井久滿次譯述。原書

H. Spencer : The Man versus the State. First Edition, 1884 ; reprinted with abridged and revised Edition of Social Statics. 1890. 二十七年一月出版、博文館發兌。

○△統計之神髓 一名社會狀態學、撒遜ドクトル・エンゲル著、日本吳文聰譯。本書原本は千八百七十一年の普魯士王國統計局報に掲ぐる Dr. Ernst Engel の統計に關する學說、二十七年二月發行、丸善、富山房發賣。

冠頭に原著者の「統計は獨立の科學なるや、將た一つの方法なるやの問題に對する余の立脚點」なる序あり。

△草茅危言日本之社會 櫻井吉松著。二十七年四月發行、敬業社發賣。

本書は當時の所謂社會主義を説ける書物にして、内容は、余の所謂社會主義、社會主義の必要、希望、勞働問題、小作人、貧民問題等なり。

△人生の目的に關する我信界 二十九年四月十八日、哲學會講演。五十頁、外山正一博士。

△理想的國家 社會文庫第三編。トーマス・モリア著、荻原絹涯(民吉)譯。二十七年三月出版、博文館發兌。

△社會問題 完。金井延講述。專修學校講義錄。

「内容」總論定義、社會問題が經濟學中に占むる所の地位、第一勞働者保護律、緒論、第一編英國勞働者保護律、第二編獨國勞働者保護律、第三編佛國勞働者保護律、第四編勞働者保護律



に關する萬國會議、二十七年十一月出版。

△神代の女性 外山正一博士著。二十七年十二月。

「内容」第一章女神等の御氣性及び御地位、第二章配偶選擇の自由。

明治二十八年

△△社會學 辰己小次郎講義。専修學校講義録の内。

「内容」社會の定義、第一編原人の社會、第二編宗教の進化、第三編家族の組織、二十八年五月發行。

△社會革命論 大岡朔助著。原本不接。

△壓制論 (Theory of Persecution) 英國フレデリック・ポロック (Frederick Pollock) 原著。法學

士平田讓衛閣、英語行政科得業生中村音吉譯。東京專門學校政治科第五回第三年級講義録參考課目、二十八年五月？

△國家社會主義及び民人の權利を論ず (State Socialism and Popular Right)

米國ジョン・レー (John Rae) 原著。文學士高田早苗閣、英語本科得業生吉田己之助譯。東京

專門學校政治科第五回第三年級講義録參考課目、二十八年五月發行？

明治二十九年

△婚姻進化論 芬蘭大學校社會學講師ウエステルマルク著。法學士藤井宇平譯。原書 Edward

Westernarck : The History of Human Marriage. 1894, London. 二十九年六月出版。哲學書院發行。

本譯書には原著者の特に此譯書に附せる序文あり。

△生物始源 一名種源論 チャールス・ダーウキン著。文學士立花銑三郎譯。原書 Charles

Darwin : Origin of Species. 二十九年三月發行。經濟雜誌社出版。

本書には理學博士伊藤篤太郎氏宏博なる序文を寄せ、ダーウキンの傳記學說並びに彼に關する文献を詳細に記されてゐる。

△社會學論文 社會雜題に掲載。柴田柴一郎原稿。寫本内容 第一章自然派と人爲派、第二章人生の多方面、第三章人世の變移し易きこと、第四章社會發達の原因、第五章社會とは何ぞや、第六章社會の理想、附録 (一) 緒論、(二) フラトール批評、(三) スペンサー批評。

△社會政策汎論目錄 法學博士金井延講義。専修學校講義録二十八年五月。

内容 第一章社會政策の何たるを辨じ、之を研究するの必要並に方法に及ぶ、第二章社會政策論の學問上に於ける地位、第三章社會政策に對する主義の異同を論ず、第四章社會政策の沿革。

△支那文明史論 中西牛郎著。二十九年十一月發行。博文館藏。

「社會の基礎たる家族」の章あり。

明治三十年



△陸象山 建部遜吾著、自彊錄一、卅年七月發行、哲學書院發兌。

△ベスタロッチ 澤柳政太郎、廣澤定中著、三十年一月發行、金港堂出版。

ベスタロッチ著「立法と嬰兒殺し」の小紹介並びに彼の著書に關する項あり。

明治三十一年

△△社會學 完。岸本能武太講述。三十一年一月發行、東京專門學校藏版。

内容、緒論、本論、第一章原人の状態、第二章社會と境遇、第三章社會の起源、第四章社會の發達、第五章社會の性質、第六章社會の目的。

○△社會學 高等師範學校教授マスタ・オヴ・アーツ岸本能武太著、大日本圖書株式會社發行、發行年月不明なれど書中に明治三十一年發行と思はるゝ點あるを以て三十一年發行にす。ジムメルの學說此書に一部紹介さる。本書は前掲岸本氏著社會學講義録の内容に加ふるに總論を以つてし、社會學に關する一般論を説けり。

△天才論 伊國トリイノ大學法醫學教授ツェザアレ・ロムプロゾオ著、文學士畔柳都太郎譯。三十一年二月出版、普及舎發兌。

△世界文明史 帝國百科全書第一編、文學博士高山林次郎著。三十一年一月出版、博文館發兌。

△哲學大觀 全。建部遜吾著。三十一年四月出版、金港堂發行、附録に「明治思想の變遷」あり。

△綜合哲學原理 完。スペンサー原著、藤井宇平譯。原本はスペンサー「綜合哲學原理」第四版と本書に記してあり、原書 H. Spencer: First Principles. 三十一年八月出版、經濟雜誌社發行、附録に「スペンサー氏綜合哲學大綱領」あり。

△學童百話 湯本武比古著、三十一年四月發行、開發社發賣。

本書内容の内社會學に關係あるものとして次の如き章あり、社會心理學、社會、國家學、開化等。

明治三十二年

○△社會之進化 ベンチャミン・キッド著、譯者角田柳作。原書 Benjamin Kidd: Social Evolution. 三十二年二月出版、開拓社發行。

○△日本之下層社會 横山源之助著。三十二年四月出版、教文館發行。

本書は明治二十九年頃よりの著者の調査を集めしものにして、附録に「日本の社會運動」あり。

△社會道德に關する統計表 二八頁 ユ・ジュ・モルフ著、譯者不明。日本に於ける社會道德に關する統計表にして前に簡單なる解説あり、三十二年五月出版、名古屋扶桑新聞社發兌。

△言語發達論 文學士藤岡勝二序、保科孝一抄譯。三十二年五月發行、ホイットニーの名著を抄譯せるもの。



△歐洲労働問題の大勢 法學士桑田熊藏著、三十二年七月出版、有斐閣發行。  
 △新聞學 松本君平講述、三十二年十二月發行、博文館發兌。  
 △社會的制度一斑 二〇頁。窪田靜太郎著、三十二年六月發行、社會政策的施設に關する紹介。

△貴族論 金子堅太郎講述、三十二年六月出版、編輯兼發行者華族會館鈴木重雄。  
 明治三十三年

△道德法律進化之理 上篇利己心、下篇道德及び法律。文學博士加藤弘之著。三十三年四月發行、博文館藏版。

○△社會學 フェーアバンクス原著、十時彌譯述。原書 Fairbanks: An Introduction to Sociology. 2nd. ed. 三十三年六月發行、博文館發兌。

○△社會學 早稻田叢書。文學博士元良勇次郎閱、文學士遠藤隆吉譯。原書 Giddings: The Principles of Sociology. 1896. 三十三年九月三十日發行、東京專門學校出版部藏版。

○△ルボン氏民族心理學 心理學書解説第五冊。塚原政次解説。三十三年十月發行、育成會發兌。

△娼妓存廢の斷案 社會研究會編。筆者加藤弘之氏其他。三十三年十月發行、編輯兼發行者坂常二郎。

△社會統計學 原著者メイヨル・スミス著、吳文聰譯。原書 R. Mayo-Smith: Statistics and Sociology. 三十二年十一月發行、東京專門學校出版部發兌。

△彌爾言行錄 町田則文譯述。三十三年二月開發社發行。

△五人組制度の起源 法理論叢九篇、穂積陳重序、三浦周行著、三十三年十二月有斐閣書房發行。

明治三十四年

△社會學講義 帝國教育會編纂。辻新次序、浮田和民講述、三十四年一月出版、開發社發行。  
 「内容」第一章社會學の概念、第二章社會學の概念(續き)第三章社會の眞性、第四章社會物理、第五章社會物理(續き)第六章社會心理、第七章社會組織、第八章社會進化、第九章家族及び國家、第十章社會の目的。

○△社會研究新論 狷堂久松義典著、三十四年二月發行、文學同志會發兌。

本書はスモール、グインセント兩氏著社會研究結論に據り、他の三四の新刊書を參照して著はせる山序文にあり、尙本書は後に「社會學と哲學」なる名のもとに三十六年一月發行せられたり、附録に「社會組織各階級機能分配一覽表」あり。

△純正統計學 吳文聰著。三十四年五月出版、丸善發行。

△ボザンケー氏國家哲學 名著綱要第七冊、浮田和民解説。東京專門學校出版部藏版。



○△現今の社會學 遠藤隆吉著、六八頁。三十四年七月發行、金昌堂集成堂發兌。

「内容」一般の説明、本編の心理學、總論第一章現今の社會學の弱點、第二章社會學史に於ける同類意識説の位置、第三章社會現象、第四章社會學の體系、本論一、序言、集合意識實現の法則、第一章社會進化論、第二章社會本質論、本論二、第一、二章社會と個人との關係、結論、第一章結論、第二章社會に汚染ある所以、第三章世界は社會なるか。

△社會學 遠藤隆吉講、哲學館第十四學年高等學科講義録の内、原本不接。

○△社會學提要 六八頁。ギッディングス著、市川源三譯。原書 F. Giddings: Theory of Socialization. 1897. 三十四年八月普及舎發行。

○△社會學 岡百世講。七七頁。教務講究所講義録叢書卷八。三十四年一月發行、本派本願寺教學局藏版。

「内容」第一篇社會學概論、第一節社會現象と社會學、第二節社會學小史、第三節社會といふ概念、第四節社會現象構式の要素、第五節個人と社會、第六節社會進化と社會組成、第七節理想的社會と社會の改良。

本書はグムプロヴィッツの社會學的思想を骨子として記述せるもの。

○△社會學 東京專門學校史學科一回一學年講義録。文學士建部遷吾講述。三十四年早稻田大學出版部發行。

「内容」總論第一章社會、第二章社會學、第三章對象及問題、第四章研究法、第五章史論、第一編社會實在論、第六章社會實在の要件、第七章社會の成立、第八章社會の發達、第二編社會現象論、第九章社會の發生、第十章家族、第十一章國家、第十二章經濟、第十三章教化、第三編社會運命論、第十四章社會の理想、第十五章社會の進化。

△社會問題解釋法 早稻田叢書の内。安部磯雄著。三十四年四月發行、東京專門學校出版部發兌。

明治三十五年

△社會學と政治 原著者グムプロヴィツチ、譯者文學士新見吉治、文學士柴山鷺雄、編輯兼發行者社會學研究會代表者布川孫市。三十五年十月發行、發賣元明治書院、原書は一八九〇年十月ドレスデンに於て「社會學の本體」と題して演説せる時の筆記を増補せるもの、一八九一年九月原書發行。

○△社會問題 附録あり。マスター・オブ・アーツ大原祥一著。三十五年十一月發行、秀英社發兌。

第十六章「社會は有機體なりや」に於てコムト、スペンサー、リリエンフェルド、ウォームス、シャップレ、ハックスレー等の氏名及學説紹介さる。

○△社會學 米國マストル・オブ・アーツ山口堪太講述。五三頁。東京政治學校講義録の内、



三十五年七月東京政治學校出版部發行。

四〇四

「内容」第一章社會的組織及び性質、第二章社會的民衆、第三章社會的結合、第四章社會的個人、第五章社會的保存、第六章結論。

○△社會學講義 久松義典著、三十五年八月發行、同志會發兌。

本書の内容は英、獨、佛、米、等に分ちて各國に於ける社會主義、社會運動、社會施設等を説けるもの、稀にスペンサー等の學説を説けるのみ、社會主義講義と云ふ方可ならんと思はる。

△人道の戰士社會主義の父マルクス、西川光次郎著。

△社會學提要 中島力造校閱 十時彌著、三十五年八月發行、普及會發兌。

「内容」緒論、第一篇社會の本質、第一章社會の特質、第二章社會の物的基礎、第三章社會の心的結合、第四章社會の心意、第二篇社會の職能及び機關、第一章社會活動の原因、第二章社會活動の様式、第三章産業的體制、第四章家族、第五章國家、第六章個人、第三篇、第一章社會發展の概見、第二章社會における自然淘汰。

著者序文に次の句あり、「著者曩にフエ氏の社會學を譯述して世に公にせり。本書は主として該書を粉本とし、傍ら鄙見に據りて刪潤を加へたるものなり。」云々とあり。

△五人組制度 法理論叢第十一編。穂積陳重著、三十五年五月發行、法理研究會出版。

△ニーチェ氏倫理説一斑 桑木嚴翼解説。

△パウルゼン氏社會倫理 野田義夫解説、三十五年七月育成會發兌。

△犯罪學 早稻田小稿、米國アーサー・マクドナルド著、法學士三木猪太郎解説、三十五年一月發行、東京專門學校出版部藏版。

△日本文明史 佛國法學博士文學博士ミシエル・ルゾオン著 法學博士梅謙次郎序、森鐘堂譯、原書名 *Historie de la Civilisation Japonaise*、三十五年六月發行、同文館發兌。

「内容」緒論、壹、歴史の歸趣、貳、歴史の目的・史料、參、歴史の研究法、肆、歴史の哲理、伍、勢力、陸、現象、漆、理法、捌、日本文明史に於ける應用、「歴史の哲理」オーギニスト・コムトの學説の紹介並に批評あり。

明治三十六年

○△社會學と事業 久松義典著、三十六年五月發行、文學同志會發兌。

△人類界之現象 坪井正五郎序、大島居弁三著、三十六年九月發行、光風館發兌。

○△社會學 文學士遠藤隆吉講述。教育研究叢書、教育學術研究會編纂、三十六年十月發行。本書は専ら佛人バラント氏の著書を、講述せるもの、附論に一、社會は自然なること、二、社會發達の順序、あり。

△社會研究晚婚論 英國ウキリヤム・オーグル著、日本田中太郎譯、三十六年五月出版、岡田書店發行、附録私生兒論、田中太郎講述。

四〇五



△社會問題 佛リギョル著、前田長太譯。三十六年三月七日出版、昌平館、三才社發兌。  
 △日本社會の發達及思想の變遷 文學士遠藤隆吉著。三十六年十二月印刷、三十七年二月發行、同文館藏版。

△史學研究法 早稻田叢書、坪井九馬三著。三十六年十月發行、早稻田大學出版部發兌。

△日本文明史 帝國百科全書第百壹編、大町芳衛著。三十六年十二月發行、博文館發兌。

△社會學と哲學 久松獨堂著。三十六年一月發行、文學同志會藏版。

本書序文に寄れば「本書は米國學士スモール、グインセント兩氏著社會研究結論に據り、他の三四の新刊書を參酌して綱領を立て、これが講究と説明は、専ら本邦現時の事實に由らんとを勉め……」とあり。

○次は第一時代に發行せられたるものと思はるゝもので發行年月又は執筆年月不明確なるもの。

△外山正一博士大學講義案「社會學案」。英文三種邦文一種、主としてプラト、ホッブス、モンテスキウ、コムト、グムプロキッツを叙述顯現せる「社會學史案」英文及邦文六種、「心理學案」英文一種、「心理生理學案」英文一種、「心理學資料」英文一種及「論理學案」英文一種あり、何れも未公刊なり。

△日本知識道德史 草稿。外山正一博士筆。二四七頁、未公刊、執筆年代不明。但し「山存

稿」「研究及批評」の最初に掲載さる。

△神代の婚姻及び家族制度 草稿。外山正一博士筆。四二頁、未公刊、執筆年代不明、但し「山存稿」「研究及批評」に掲載。

△神代に於ける政治思想及び制度 草稿。外山正一博士筆。二五頁、未公刊、執筆年代不明、但し「山存稿」「研究及批評」に掲載。

△養子論 草稿。外山正一博士筆。三八頁、未公刊、執筆年代不明、但し「山存稿」「研究及批評」に掲載。

△政府職權の範圍 未完草稿。外山正一博士筆。三八頁、執筆年代不明、但し「山存稿」「研究及批評」に掲載。

△天變地異について 未定稿。外山正一博士筆。七頁、執筆年代不明、但し「山存稿」「研究及批評」に掲載。

△ペンサム氏の普通選舉論者なることを證明して毎日記者の蒙を解く 外山正一博士筆。公刊、但し年代不明。

△人類學 全。講師若林勝邦、第二章以下鈴木泰太郎講義。講義場所、年代、發行所不明、本文によれば専ら Tylor: Anthropology によれる由。

△社會學 文學士辰巳小次郎講義。



何處にて何時講義せられたるものか不明なれど、内容は二十三年より二十四年にかけて哲學館講義録に掲載せられたる辰巳氏の社會學と大體同じにして、只之は「人天の關係」なる章がなきのみなり。

△社會學理 文學士建部遷吾講述。東京專門學校藏版。

「内容」社會學概観、五回講義、社會學の原理、第一編社會説の要素、第一章社會學の觀念、第二章社會學の範圍、第三章社會學の研究法、第四章社會學の問題、第二編社會學の要素及び結構、第一章社會の人民、第二章社會の精神、第三章社會的結合體、第四章社會造構、第三編社會歴史的開發、第一章動物協同生活、第二章人種的協同生活、第三章人民的協同生活、第四編社會的進動、法則、及び原因、第一章社會的進動、—物理的、第二章社會的進動、—精神的、第三章社會的法則及び原因。

△社會學講義 文學博士建部遷吾述。年代不明、早稻田大學出版部藏版。

「目次」緒言、序論、第一章社會學の義解、第二章社會、第三章社會學研究法、本論上、社會の現象、第四章社會の發生、第五章家族、第六章國家、第七章國際社會、第八章經濟、第九章教化、第十章教化の方法、本論下、社會の本質、第十一章社會成立の要件、第十二章社會の成立、第十三章社會制度及社會心意、第十四章社會の發達、第十五章社會の進化、第十六章文明、本講義は三十三年より三十四年の間に行はれたるものなりと思はる。

○本誌第十八號掲載の分に對しての追加。

明治十年

馬爾去斯人口論要略 英馬爾去斯著、大島貞益譯。原本不接。

△利用論 英國彌爾氏原著、日本中村正直序、澁谷啓藏譯、原書 John Stuart Mill : Utilitarianism. 1874, London. 十三年三月開雕、書肆山中市兵衛發兌。

△民權辯惑 外山正一博士筆。三六頁、十三年一月。

△古今社會黨沿革説 二卷。米人テオドル・デ・ウールセイ著、穴戸義知譯。十五年八月弘令社卷一發兌、十五年十一月小笠原書房卷二發兌、卷二には依田百川の評あり。

△人權新説駁論 全。矢野文雄著。十五年十二月發兌、畑野林之助出版。

人權新説駁論序、人權新説の世に出るや、書を我が報知社に寄せて其説の當否を論ぜんことを請ふ者尠からず、時に藤田兄は漫遊して、北陸に在り犬養尾崎の二兄も亦大阪に在り、而して箕浦兄も此時亦近縣の招聘に應ず、是に於て乎余立論の責に當り、十一月三日を以て其駁論を試しが、次で東京の諸新聞も亦皆之を論じ、遂に各社の間に於て當時の一問題となれり、余の駁論は唯勿々の立案に成る者にして其或は人意に慊らざるを恐る、且つ余は當時患所有て手に筆管を執ること能はず、則ち文意を口述し、傍人をして一氣呵氣發なく、緩漫にしてむ、故に語氣筆記せして之を成の者に異なり、頃日二三の社友我が新紙に載する所の本論を輯めて冊



子となし覽閱の便を圖らんと欲し來て、余の序を請ふ、因て當時立案の顛末を書して以て之に與ふ。明治十五年十二月 矢野文雄識。

△交際及政體 (Constitution of Society and Government.) チャンパー原著、高橋達郎譯。

文部省印行百科全書第十一冊、内容卷之上、總論、家族の大倫及び婚姻、ユートピア國の記、族宗政治の國及び同姓の種族、奴隸の狀態、人生の任責及び文明の國、都府、卷之下政體論。

△人口窮救及保險 (Population—Poor Laws—Life Assurance) チャンパー原著、永田健介譯。

文部省印行百科全書第十八冊、マルサス人口論並に其駁論紹介さる。

△國民統計學 (Social Statistics) チャンパー原著、堀越愛國譯。

文部省印行百科全書第十冊。

【社會學雜誌】第二十三號(大正十五年三月一日發行) 掲載

昭和七年八月十二日印刷  
昭和七年八月十七日發行

明治社會思想研究 奥附

定價二圓八十錢



著者 下出隼吉

發行者 淺野武人

印刷者 木屋二郎

東京市神田區美土代町四ノ五・小川町ビル

東京市神田區錦倉町五番地

東京・神田・東陽印刷所

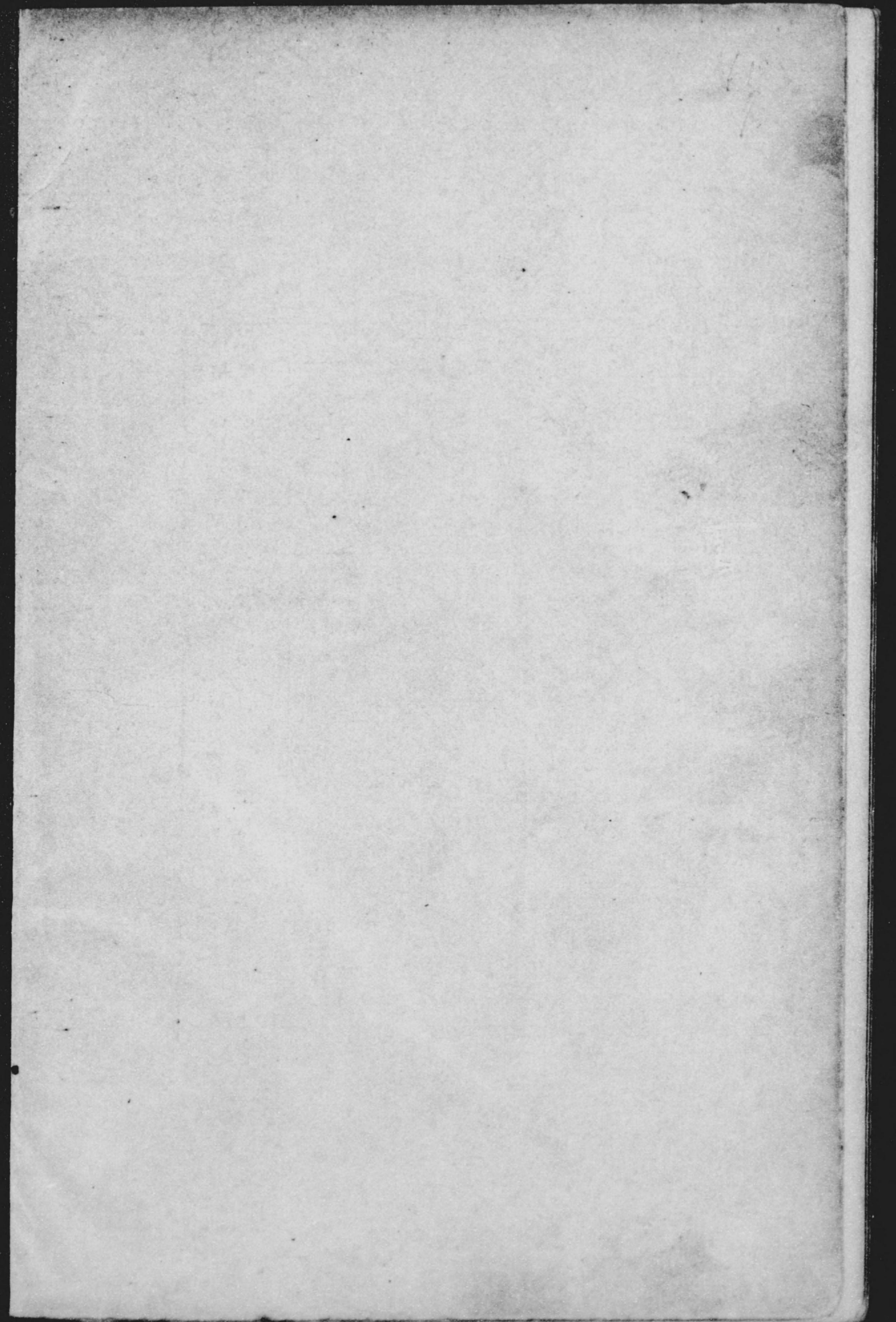
發行所

東京・神田小川町通  
小川町ビル

淺野書店

總店 東京二六八番  
電話 神田(25)二〇一四番







524
114



